

事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121  
 会長 山田 益 幹事 唐澤幸利 会報委員長本田敏和 第3011回 例会2023.12.7 No.1671



世界に希望を生み出そう

2023-24 年度 RI テーマ

CREATE HOPE

In the WORLD

## ソング 君が代 奉仕の理想

### 会長 談話 山田 益会長

私の大学からの友人で今日までいろいろな事で、お付き合いをしている「S君」がいます。彼は山梨大学工学部機械工学科では流体工学の研究をして、その後大学院に進み2年後、1969年三島市に有る明治時代創業の大型風水力メーカー(株)「電業社機械製作所」へ入社しました。会社では100KW、200KWなど大型ポンプの設計をしていて、用途は火力、原子力発電所などの冷却用ポンプ、送風機など、また公共下水道終末処理施設の大型ポンプなどの設計を担当して社内では一番若くして課長になりました。しかし40歳を過ぎた頃から頭の中で蝉が鳴くような音がしだし、次第に夜も眠れないほどの大きな音になってしまいました。たまらないほどになり国内や海外にも出かけて治療をしましたが、どんどん聞こえなくなり社内会議も聞き取りが出来なくなりました。その後は社内人事の配慮もあり研究開発部長を定年退社まで勤めました。この間には多くの新製品の開発も有り、この頃加工方法打ち合わせで私の会社にも来ましたが、全て筆談で進めました。困ったことは宿泊ホテルでモーニングコールは聞こえない、電話もドアをノックしても聞こえない。全く聞こえないことは本当に困ると思いました。

この頃、私が参加していた「失敗学」の畑村洋太郎東大教授の研究会が有り、この会に参加されていた東大名誉教授で国立病院機構：東京医療センターの加我君孝教授と難聴の事でお話することが出来ました。「私の友人で70歳を超えている友人がもう何年も全く聞こえない」とS君の事を話したら「なるべく早く来てください。多分聞こえるようになります」と言ってくれました。早速S君に話したら後日談では、あまり気が進まなかったようですが、2017年に加我先生の執刀で「人工内耳」の電極を耳の中の「蝸牛の鼓室階」に手術で挿入するもので、無事成功しました。(5時間く



らいかかった)。この「人工内耳」は1990年代半ばから子どもに使われるようになった人工感覚器の一つで、20世紀の人工臓器の中の最高傑作とされています。この電極には内部装置と言うレシーバーがついています。そのレシーバーと一緒に側頭骨に移植されます。それに音情報を伝えるものを外部装置といい、その内部装置と頭皮を挟んで磁石によりくっ付くようになっています。マイクや電池はその外部装置に含まれ、箱型の補聴器あるいは耳掛け型の補聴器のような形をしたものとして使われます。S君は今ではもうあきらめていた孫の話も聞こえて本当に喜んでいます。大学のクラス会に来ては皆と歓談できるし私のところへも車で来て打ち合わせも筆談無しでOKです。常に耳の後ろに外部装置を付けていますから、電池切れが無いように注意しているとの事です。良かったことがもう一つあります。奥様ががみがみ言って来たら外部装置を外すらしいです(内緒)

### 誕生祝

竹腰哲夫・本郷一博  
平出吉範・矢島 豪  
城取健太・八木択真

### 結婚記念日祝

小坂栄一・宮下金俊

幹事報告 別紙をご覧ください

### 理事会報告

1. 12月のプログラム 2. 年末家族会について  
全て承認された。

### 委員会報告「雑誌紹介」疾病予防と治療月間

12月号「ロータリーの友」赤羽弘之副会長

横組み P5~RI 会長の12月に開催される国連COP28(気象変動国際会議)に出席して、国際的な慈善団体であるロータリーが支援してきた活動を報告。P10~「認知症を知ろう」の記事。

縦組み P4~「いのちを受け継ぐ~人生という刺繍を刺す」という記事。P9~「この人を訪ねて」浜松南ロータリークラブ会長アーネスト・ララカ・シルバーさんのお話です。



### 在籍祝

三澤清美(22)

## 「地区大会報告」

山田 益会長より、11月11(土)、12日(日)に開催された地区大会の報告がされた。

在籍表彰

- ・下枝正一会員(30年)
- ・平澤泰斗会員(20年)

「年末家族会」について

矢島 豪親陸活動委員長より、25日(日)開催の流れについて説明がされた。

「伊那弥生ヶ丘高校キャリア教育授業」・「職業奉仕セミナー」について飯島松一職業・社会奉仕委員長より、それぞれの概要について説明がされた。

**出席報告** 会員数 57名 内出席免除者 19名  
出席者 33名 事前メーキャップ1名 出席率75.55%

## ニコニコボックス

- ・小林句子 IGMの二次会のご来店ありがとうございました。次回もよろしくお願ひ致します。
- ・藤本和寿 本日は、卓話をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

ラッキー賞

荒木康雄・藤本和寿  
宮下金俊・吉田秀樹  
山田 益・小林句子  
大石ひとみ



## 会員卓話

藤本和寿会員 演題-「私の履歴書」

私は、昭和46年に飯田市の農家の三男として生まれまして、今年で52歳になります。実家は古い農家でしたが、父は土木建設会社を営んでいましたので、小さい頃は重機が遊び場みたいなものでした。祖父が亡くなったのを契機に、父は土木建設会社を親族に任せて農業に専念しました。

子供の頃から足が速く、スポーツが大好き、小学校は剣道とサッカー、中学から高校までサッカーに没頭し、勉強はほどほどにという毎日を送っていました。高校を卒業後は、東京と神奈川にキャンパスがある大学に進学しました。お恥ずかしい話ですが、大学1年から2年の夏まではアルバイト、サークル、そしてコンパと称する飲み会に没頭する不真面目な学生でした。そんな生活から大きく変わったのは、大学2年の秋頃です。自分はこのままでいいのか、大学生活は本当に充実しているのか自問自答するようになり、心機一転、学部内で最も厳しいことで有名な教授のゼミに応募し、この教授との激しい戦いに挑みました。本当に苦しかったにもかかわらず、すごく楽しく充実した思い出として今でも鮮明に残っています。社会に出てから役に立った精神力、忍耐力、



そして想像力や企画力などは、この時期に培われたと思います。

さて、話は就職に飛びますが、私が大学2年生になるとバブル経済が崩壊し、株価急落、不動産価格が暴落、世の中が一気に不景気の波に飲み込まれ、その2年後の不景気真っ只中で厳しい就職活動となりました。幸いに、希望した東京都内と長野県の企業数社から内定をいただくことができ、最終的には長野銀行への就職を決めました。

銀行では初任店の豊科支店を皮切りに、法人向け営業を中心に営業店6店舗、本部では営業統括部の営業企画のチーフ責任者を経験しました。その後、支店長となり、伊那支店が4店舗目、銀行員生活は今年でちょうど30年となります。上伊那地域としては、過去に箕輪支店、伊那支店に勤務、今回で3回目の伊那市での生活となります。1回目の伊那支店在籍時には、隣の伊那東支店において営業係が強盗に襲われバックを奪われる事件があり、その後犯人が逮捕されるまで大変な状況でした。また、本部では在籍した時期が金融庁検査や日本銀行検査のタイミングにあたったため、TVドラマ「半沢直樹」の金融庁検査の様子さながらに、数十名のキャリア官僚による数か月の検査に最前線に対応する苦しい経験もいたしました。

当行が松本山雅のスポンサーとなったのは、当クラブがJリーグではなく、まだJFLに在籍していた時代で20年近く前になります。当時、中條という頭取が「山雅のスポンサーをやれ。」と突然言い出し、その奇抜なアイデアがスタートでした。当行のスポンサーとしての想いは、「地域の新たな文化の醸成と地域経済の活性化への貢献」です。長野県におきましては長野オリンピックもあり、東北信を中心にスポーツの文化が根付いていましたが、中南信にはそのような文化がありませんでした。その中で、中南信地域にプロスポーツという新しい文化を作り上げ、若者から年配者までと一緒に楽しみ、地域の人々が同じ話題で会話をし、地域を明るくする大切な文化を作るお手伝いをしたいというものです。さらにプロサッカーチームを応援する人や企業を増やし、人、モノ、お金が動くことによって、新たな産業の創出と企業の事業活動を活発にすることで地域経済を活性化のお手伝いをしたいと考えました。

また、スポンサーとしての様々な取組みから、当行は「当行のブランドイメージの向上」「職員のモチベーションやプライドの向上」という大きな副産物(プレゼント)も得ることができたとも感じています。

私にとって妻との運命的な出会いに導いてくれた伊那の地に感謝し、この地域での3回目の生活を思う存分楽しみながら、地域の皆さまのお役に立てるように頑張っています。これからもよろしくお願ひします。ありがとうございました。